

2026年度
編入学試験問題

専 門 科 目

奈 良 大 学

文学部 史学科

つぎの①から⑤までのうち 2 つを選択し、それぞれについてできるだけ詳しく説明せよ。

- ①平安時代の文化における中国文化の影響について
- ②江戸時代の農業について
- ③昭和戦前・1930 年代の日本における軍部の台頭について
- ④イスラームの教義と伝播について
- ⑤第二次世界大戦後の(東西)冷戦の出現と展開について

2026 年度入試 編入学試験(問題、出題意図、評価方法、解答例)(史学科)

①平安時代の文化における中国文化の影響について

【出題意図、評価方法、解答例】

奈良時代から引き続き、延暦・承和と遣唐使の派遣が行われ、中国の文化をさらに摂取し、これを消化しながら新しい文化を発達させた 9 世紀の弘仁・貞観文化、菅原道真の提言によって遣唐使の派遣が停止されたあと、それまでに摂取してきた中国の文化を、日本の風土・考え方・生活に基づいてつくりかえた 10 世紀以降の国風文化(藤原文化)、それぞれの特徴をおさえてほしい。そのうえで、遣唐使の停止以後も、正式な国交はなくなったものの、平安貴族の中国文化への憧れは変わることがなく、唐滅亡後も中国との民間交易は継続し、中国の文物の流入は継続したことを確実に捉え、国風文化の実態が、中国文化の存在を前提にした、日本の基層文化との融合であったことを述べてほしい。

②江戸時代の農業について

【出題意図、評価方法、解答例】

以下の諸点に言及されていることが望ましい。

☆17 世紀中に、農業生産量が飛躍的に伸びたこと

☆綿、菜種といった、中世までにはなかった商品作物が作られるようになること

☆自給肥料のみならず、干鰯のような金肥も多用されるようになること

☆備中鋤や千歯扱のような農具が発達すること

☆『農業全書』のような農書が商業出版されるようになること

③昭和戦前・1930 年代の日本における軍部の台頭について

【出題意図、評価方法、解答例】

高校で学ぶことになっている内容をふまえ、少なくとも以下の事項を盛り込みながら論じているかどうかによって評価する。

満洲事変、関東軍、5・15 事件、政党内閣制の崩壊、ワシントン・ロンドン海軍軍縮条約からの離脱、2・26 事件、軍部大臣現役武官制の復活、盧溝橋事件、日中戦争、国家総動員法の制定と戦時体制の形成、第二次世界大戦、日独伊防共協定・日独伊三国同盟条約、南進政策

満洲事変が起こった 1931 年から 1939・40 年ごろまでをカバーしていればよい。また、上記以外の事項・人物など(例えば、皇道派と統制派、艦隊派と条約派)にも触れられていれば加点している。

④イスラームの教義と伝播について

【出題意図、評価方法、解答例】

以下のキーワードを用いながら、適切に解説できているかどうかを評価する。

ムハンマド、メッカ、メディナ、アッラー、『クルアーン』、スンナ派、シーア派、正統カリフ、ウマイヤ朝、アッバース朝、ジズヤ、ハラージュ、アラブ＝ムスリム、マワーリー

⑤第二次世界大戦後の(東西)冷戦の出現と展開について

【出題意図、評価方法、解答例】

以下、大きく 5 つの時代に分けて、東西関係の展開、ならびに、冷戦下での世界各地の状況がそれぞれ説明されていることを求めている。

(1) 1945～49 年: 東西対立から冷戦の勃発

(2) 1950～62 年: 世界各地での冷戦対立

(3) 1963～79 年: デタント

(4) 1979～85 年: 「新冷戦」と呼ばれる冷戦対立の再激化

(5) 1985～89 年: 東西関係の緊張緩和と冷戦終結